

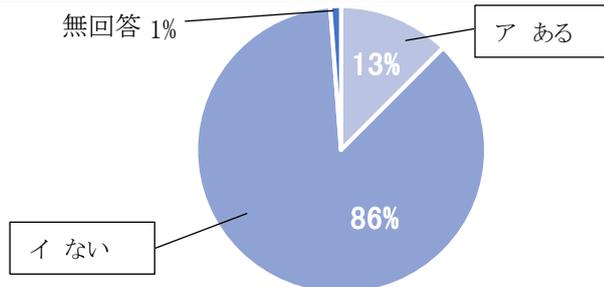
栃木県市町村職員共済組合 保健事業アンケート報告（配偶者用）

令和5年7月～8月実施

1 当組合のホームページについて

(1) 当組合のホームページには事業内容や大切なお知らせ、広報誌等を掲載していますが、ご覧になったことがありますか。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア ある	58人	46人	12人
イ ない	361人	278人	83人
無回答	2人	2人	0人



配偶者の86%が当組合のホームページを見たことはありません。

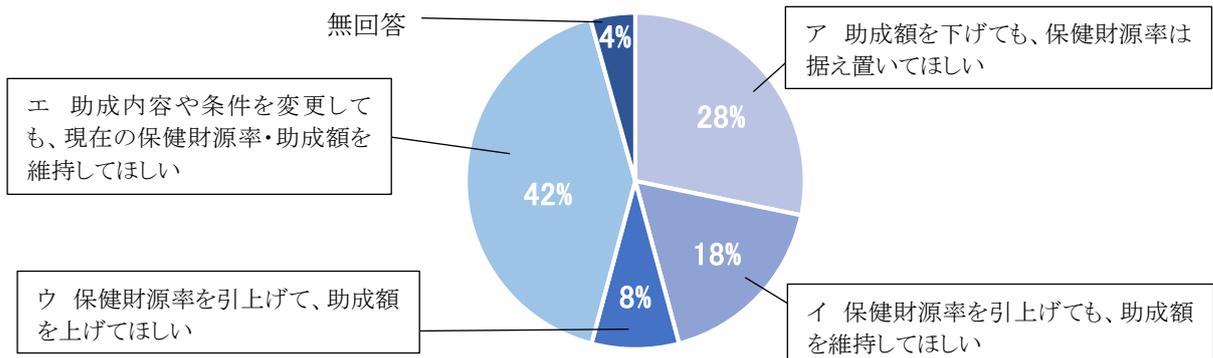
2 人間ドック助成について

受診年度において30歳以上の組合員と35歳以上の任意継続組合員及び被扶養配偶者を対象に、人間ドック検査料金の一部を助成しており、助成割合は検査料金の約5割（宿泊は約4割）です。

検 査 コ ー ス	助成額
一般ドック・婦人ドック・脳ドック	26,000円
女性ドック（婦人ドックまたは一般ドックにマンモグラフィ検査及び乳房超音波検査を加えたもの、40歳以上の組合員及びその被扶養配偶者）	29,000円
受診年度60歳の組合員（検査コース問わず、上限額）	40,000円

(1) 助成額についてお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

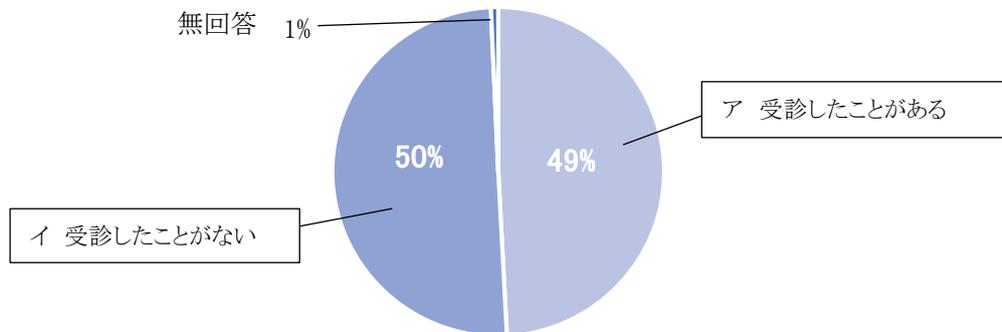
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 助成額を下げても、保健財源率は据え置いてほしい	119人	92人	27人
イ 保健財源率を引上げても、助成額を維持してほしい	74人	58人	16人
ウ 保健財源率を引上げて、助成額を上げてほしい	35人	31人	4人
エ 助成内容や条件を変更しても、現在の保健財源率・助成額を維持してほしい	175人	133人	42人
無回答	18人	12人	6人



配偶者の70%が「現在の保健財源率を維持してほしい」と答えています。（ア、エ）

(2) 受診についてお伺いしますので、選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 受診したことがある	207 人	161 人	46 人
イ 受診したことがない	211 人	163 人	48 人
無回答	3 人	2 人	1 人



人間ドックの受診の有無は、概ね同程度の人数でした。

(3) 受診しない理由を選択してください(受診したことがない方のみ、複数回答可)。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 他の健康診断(住民健診・パート先での健康診断等)を受診しているため	85 人	60 人	25 人
イ 定期的に病院を受診しているため	37 人	19 人	18 人
ウ 自己負担額が高いため	39 人	32 人	7 人
エ 健康診断を受診したくない	8 人	6 人	2 人
オ 人間ドック利用助成を知らない	39 人	33 人	6 人
カ 利用方法がわからない	32 人	28 人	4 人
キ 助成対象年齢前(35歳未満)	23 人	23 人	0 人
ク その他(今年度初めて受診予定、時間がない等)	11 人	10 人	1 人
無回答	11 人	8 人	3 人

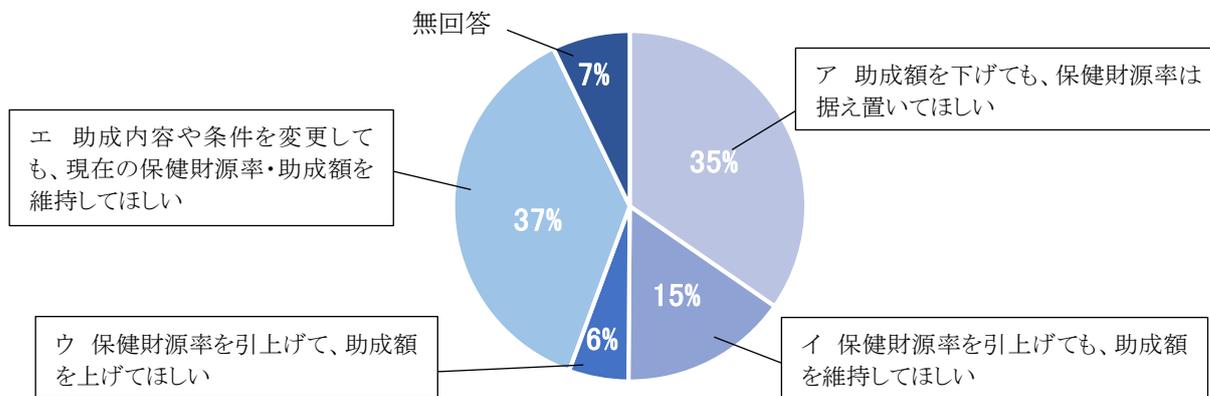
一番多い受診しない理由は「他の健康診断を受診しているため」でした。

3 PET検査助成について

受診年度において30歳以上の組合員と35歳以上の任意継続組合員及び被扶養配偶者を対象に、検査料金の一部として52,000円を助成しており、助成割合は検査料金の約5割です。

(1) 助成額についてお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

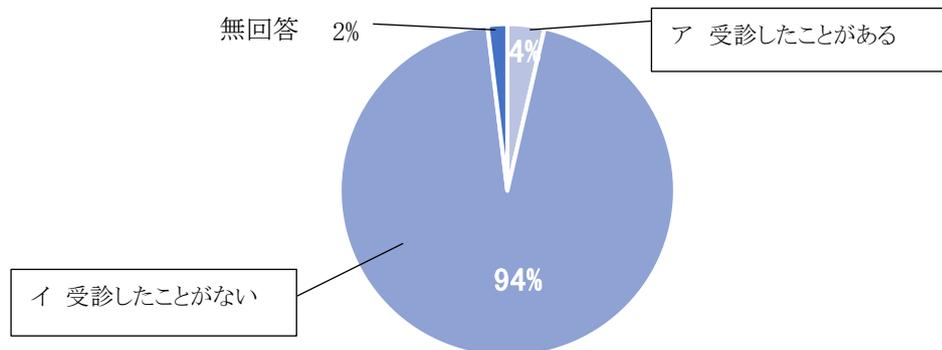
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 助成額を下げても、保健財源率は据え置いてほしい	146 人	111 人	35 人
イ 保健財源率を引上げても、助成額を維持してほしい	65 人	50 人	15 人
ウ 保健財源率を引上げて、助成額を上げてほしい	23 人	21 人	2 人
エ 助成内容や条件を変更しても、現在の保健財源率・助成額を維持してほしい	157 人	120 人	37 人
無回答	30 人	24 人	6 人



配偶者の72%が「現在の保健財源率を維持してほしい」と答えています。(ア、エ)

(2) 受診についてお伺いしますので、選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 受診したことがある	15 人	10 人	5 人
イ 受診したことがない	398 人	310 人	88 人
無回答	8 人	6 人	2 人



配偶者の94%がPET検査を受診したことはありません。

(3) 受診しない理由を選択してください(受診したことがない方のみ、複数回答可)。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 人間ドックや住民健診(がん検診)で十分と感じるため	158 人	118 人	40 人
イ 自己負担額が高いため	113 人	91 人	22 人
ウ PET検査助成を知らない	141 人	113 人	28 人
エ PET検査利用方法がわからない	59 人	43 人	16 人
オ 助成対象年齢前(35歳未満)	22 人	22 人	0 人
カ PET検査は不要だと思う	19 人	13 人	6 人
キ その他(時間がない、人間ドックの結果で検討したい等)	14 人	12 人	2 人
無回答	9 人	5 人	4 人

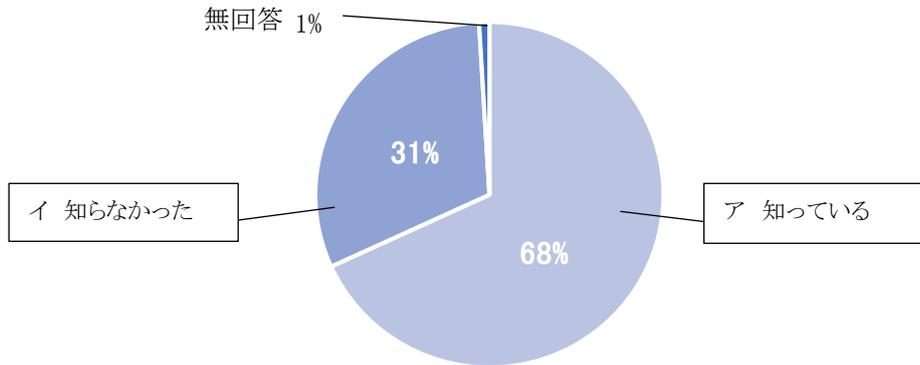
一番多い受診しない理由は「人間ドックや住民健診(がん検診)で十分と感じるため」でした。

4 インフルエンザ予防接種助成について

組合員及びその被扶養者を対象に、自己負担額が1人1回あたり1,000円以上の場合に1,000円（年度内2回まで）助成し、助成金は組合員の登録口座へ送金しています。

(1) インフルエンザ予防接種助成をご存じですか。

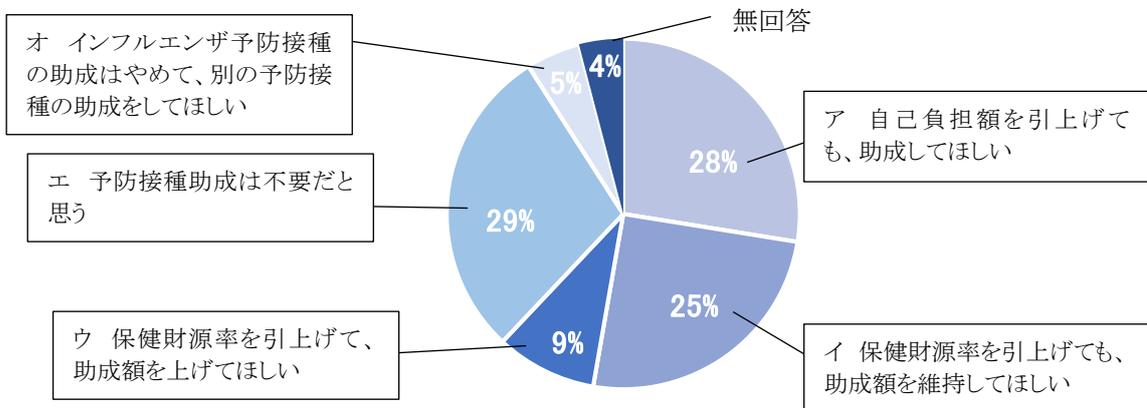
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 知っている	287人	229人	58人
イ 知らなかった	130人	94人	36人
無回答	4人	3人	1人



配偶者の68%がインフルエンザ予防接種助成を知っています。

(2) 助成額についてお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 自己負担額を引上げても、助成してほしい	116人	94人	22人
イ 保健財源率を引上げても、助成額を維持してほしい	106人	78人	28人
ウ 保健財源率を引上げて、助成額を上げてほしい	39人	31人	8人
エ 予防接種助成は不要だと思う	122人	94人	28人
オ インフルエンザ予防接種の助成はやめて、別の予防接種の助成をしてほしい(希望する予防接種名:帯状疱疹、自費になった後の新型コロナウイルス感染症)	21人	15人	6人
無回答	17人	14人	3人



配偶者の29%が「予防接種助成は不要だと思う」と答えています。

5 救急薬品等配付事業について

毎年、11月上旬に選択制により1人当たり2,000円を限度に救急薬品を配付していますが、薬品単価及び配送料が年々値上がりしています。

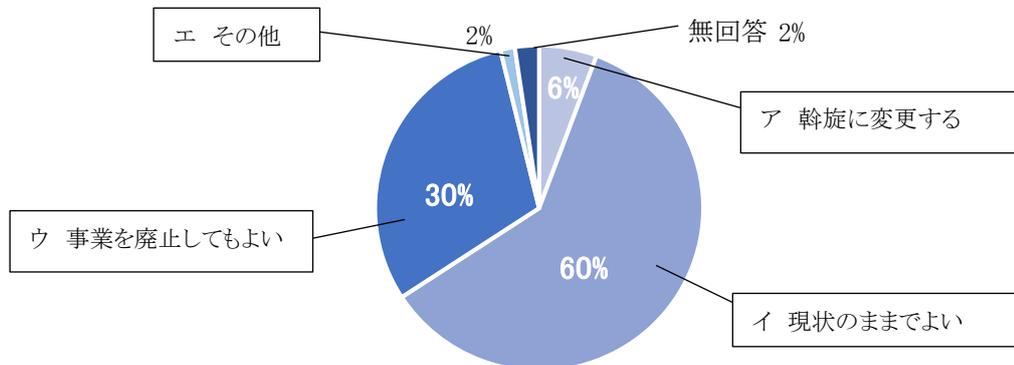
救急薬品等配付事業は斡旋による方法もあることから、実施方法についてお伺いします。

斡旋の場合は、当組合からの助成はありませんが、特納品（市販されていない少量の特価品）や今まで取扱っていないサプリメント等健康商品も多く取扱うことができるようになります。

利用方法は、当組合が選定した商品から組合員が選んで業者へ直接申込みし、商品・請求書は業者から自宅に配送されますので、業者に代金を振込むことになります。

(1) 実施方法についてお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 斡旋に変更する	24人	16人	8人
イ 現状のままでよい	253人	210人	43人
ウ 事業を廃止してもよい	128人	89人	39人
エ その他(時間がない、人間ドックの結果で検討したい等)	6人	6人	0人
無回答	10人	5人	5人



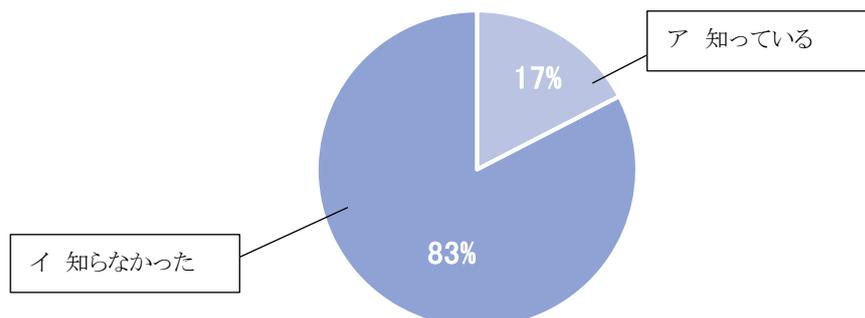
配偶者の60%が「現状のままでよい」と答えています。

6 禁煙サポート助成について（喫煙者の方のみ：23人）

組合員及び被扶養者が、医療機関で保険適用の禁煙外来を受診し禁煙に成功した場合、年度内に1回に限り全額を助成しています。

(1) 禁煙サポート助成をご存じですか。

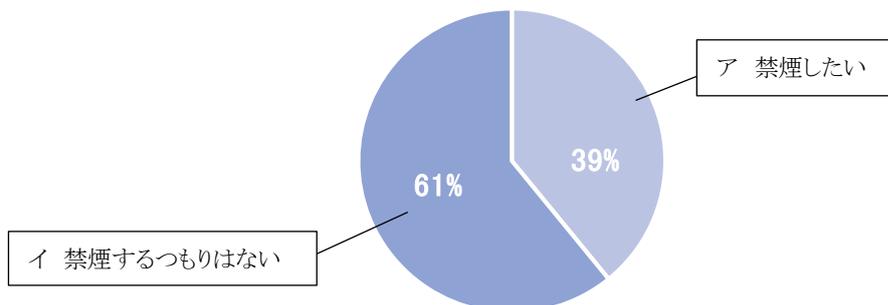
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 知っている	4人	3人	1人
イ 知らなかった	19人	13人	6人



喫煙者の83%が「知らなかった」と答えています。

(2) 禁煙についてお伺いしますので、選択してください。

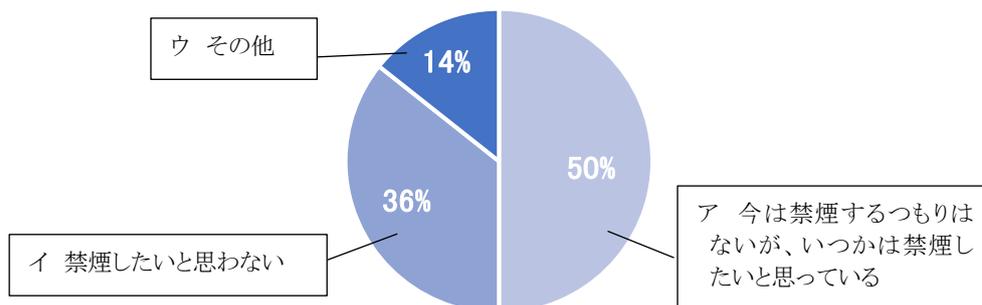
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 禁煙したい	9 人	6 人	3 人
イ 禁煙するつもりはない	14 人	10 人	4 人



喫煙者の61%が「禁煙するつもりはない」と答えています。

(3) 理由についてお伺いしますので、選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 今は禁煙するつもりはないが、いつかは禁煙したいと思っている	7 人	4 人	3 人
イ 禁煙したいと思わない	5 人	4 人	1 人
ウ その他 (禁煙する方がストレス等)	2 人	2 人	0 人



「禁煙するつもりはない」と答えた方のうち50%の方が「今は禁煙するつもりはないが、いつかは禁煙したいと思っている」と答えています。

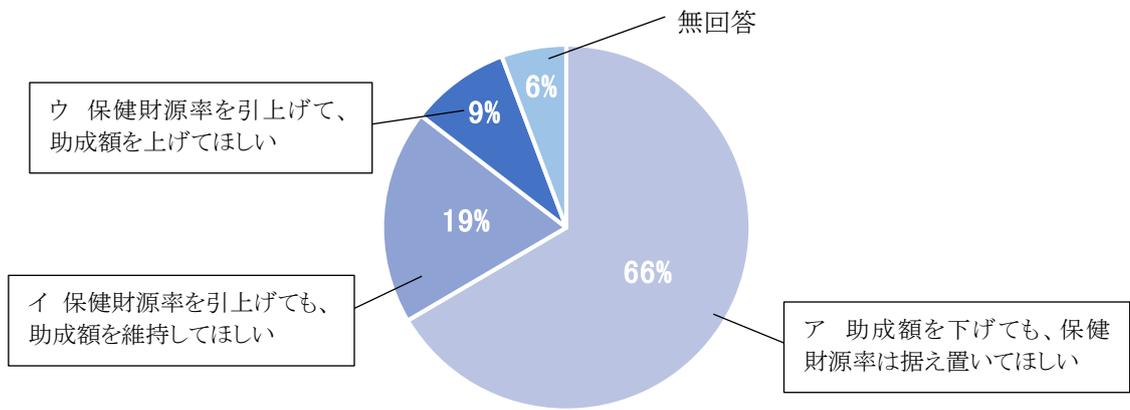
7 宿泊施設利用助成について

組合員及び被扶養者を対象に、「宿泊施設利用助成券」を施設に提出することで、宿泊料金の一部を助成しています。

協定宿泊施設及び栃木県内指定施設	⇒ 1人1泊につき 3,000円を助成
栃木県外指定施設	⇒ 1人1泊につき 2,000円を助成

(1) 助成額についてお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

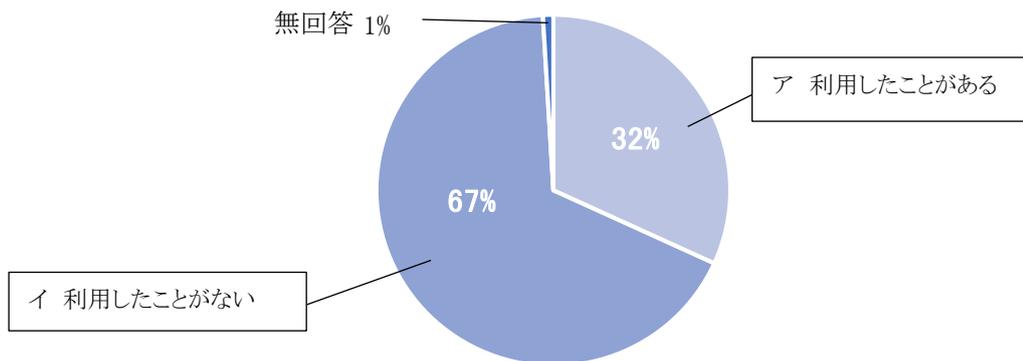
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 助成額を下げても、保健財源率は据え置いてほしい	280 人	214 人	66 人
イ 保健財源率を引上げても、助成額を維持してほしい	80 人	63 人	17 人
ウ 保健財源率を引上げて、助成額を上げてほしい	37 人	30 人	7 人
無回答	24 人	19 人	5 人



配偶者の66%が「助成額を下げても、保健財源率は据え置いてほしい」と答えています。

(2) 利用についてお伺いしますので、選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 利用したことがある	134 人	111 人	23 人
イ 利用したことがない	283 人	213 人	70 人
無回答	4 人	2 人	2 人



配偶者の67%が利用したことはありません。

(3) 利用しない理由を選択してください（利用したことがない方のみ、複数回答可）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 宿泊施設利用助成を知らない	87 人	62 人	25 人
イ 利用方法がわからない	52 人	38 人	14 人
ウ 宿泊したい施設がない	63 人	51 人	11 人
エ 宿泊施設を利用する機会がない	135 人	100 人	35 人
オ その他(時間がない、これから利用したい等)	6 人	5 人	1 人
無回答	8 人	5 人	3 人

一番多い利用しない理由は「宿泊施設を利用する機会がない」でした。

(4) 契約してほしい地域、施設がありましたらご記入ください。

湯西川温泉郷、東京都内（東京駅、日本橋、池袋、新宿、浅草）、軽井沢、箱根、山梨県勝沼町、下呂温泉、京都市内、横浜駅周辺、東京ディズニーリゾート周辺、レジャー施設のホテル、星野リゾート、キャンプアンドキャビンズ那須、ホテル日航大阪、スイスホテル南海 等

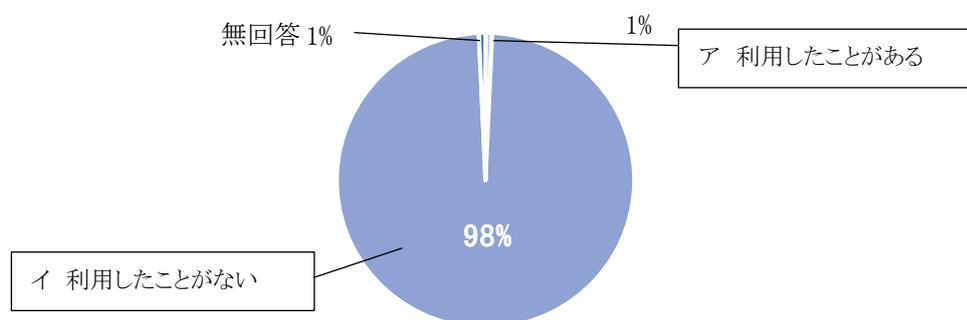
8 電話健康相談事業について

組合員、被扶養者及び同居の家族を対象に、病気やケガ、育児、メンタルヘルス等について、専門家による健康医療相談が受けられます。匿名での相談も可能であり、相談内容が外部に伝わることはありません。

◇ 電話・WEBによる相談	24時間受付、年中無休
◇ 面接カウンセリング	予約受付：月～土 午前10時～午後8時(WEB予約は年中無休) ・面接は一人年間5回まで無料 ・面接会場は全国約160か所、栃木県内は3か所

(1) 利用についてお伺いしますので、選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 利用したことがある	3人	3人	0人
イ 利用したことがない	415人	320人	95人
無回答	3人	3人	0人



配偶者の98%が利用したことはありません。

(2) 相談方法にSNSが追加された場合、利用してみたいですか(利用したことがある方のみ)。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 利用してみたい	1人	1人	0人
イ 利用したくない	1人	1人	0人
ウ その他	1人	1人	0人

(3) 利用しない理由を選択してください(利用したことがない方のみ、複数回答可)。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 電話健康相談事業を知らない	224人	174人	50人
イ 利用方法がわからない	57人	42人	15人
ウ 必要がない	150人	118人	32人
エ その他(今は必要がない、これから利用するかもしれない等)	18人	12人	6人
無回答	22人	19人	3人

一番多い利用しない理由は「電話健康相談事業を知らない」でした。

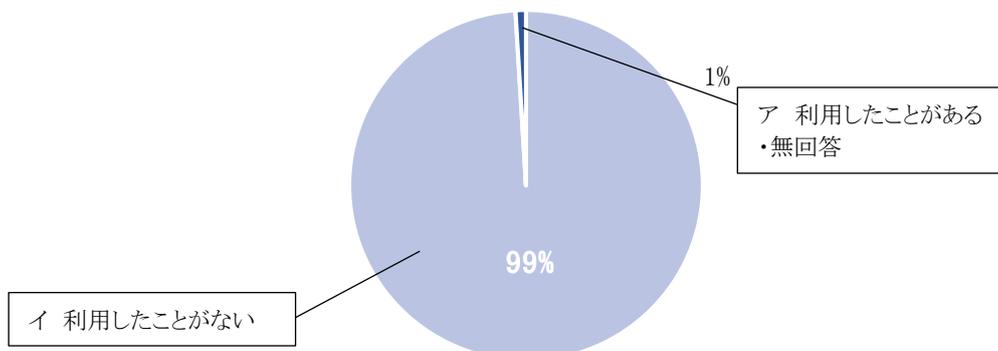
9 睡眠検査助成について

組合員及び被扶養者の睡眠障害による精神疾患、認知症及び生活習慣病などの予防及び改善を図ることを目的として、当組合が指定する検査機関及び検査方法で睡眠検査を行った場合、年度内に1回費用の一部を助成します。

- ・ 募集期間：毎年4～5月
- ・ 検査機関から機器が自宅に届き一晩装着して検査することで、睡眠の状態が確認できます。
 - ◇ スクリーニング検査（助成額2,000円）・・・自己負担 970円～7,170円
就寝時に指先に機器を付け、血液中の酸素濃度を測定する検査
 - ◇ 簡易検査（助成額4,000円）・・・自己負担4,800円～7,000円
就寝時に指先及び鼻に機器を付け、血液中の酸素濃度及び呼吸を測定する検査

(1) 利用についてお伺いしますので、選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 利用したことがある	2人	2人	0人
イ 利用したことがない	415人	320人	95人
無回答	4人	4人	0人



配偶者の99%が利用したことはありません。

(2) 自身の睡眠について参考になりましたか（利用したことがある方のみ）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 参考になった	2人	2人	0人
イ 参考にならなかった	0人	0人	0人

利用したことがある方全員が参考になったと答えています。

(3) 利用しない理由を選択してください（利用したことがない方のみ、複数回答可）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 睡眠検査助成を知らない	278人	216人	62人
イ 利用方法がわからない	60人	46人	14人
ウ 必要がない	142人	104人	38人
エ その他(これから利用予定等)	4人	4人	0人
無回答	5人	5人	0人

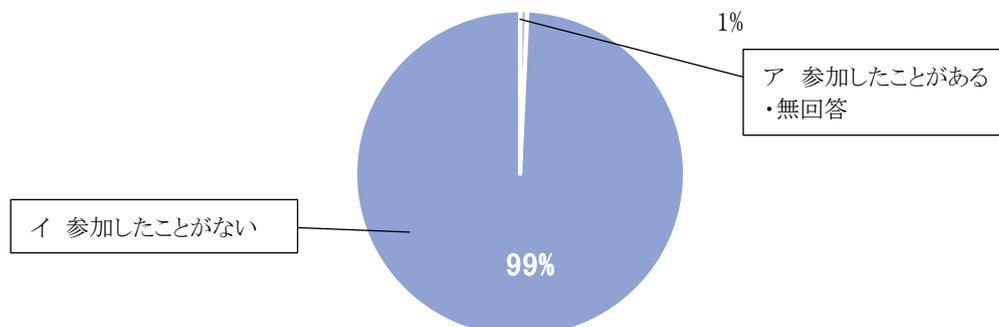
一番多い利用しない理由は「睡眠検査助成を知らない」でした。

10 健康・メンタルセミナーについて

組員及び被扶養者を対象に、年度内各1回（土曜日）宇都宮市で開催しています。

(1) 参加についてお伺いしますので、選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 参加したことがある(健康セミナー)	3人	3人	0人
イ 参加したことがない	418人	323人	95人
無回答	0人	0人	0人



配偶者の99%が利用したことはありません。

(2) 参加しない理由を選択してください（参加したことがない方のみ、複数回答可）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 参加したいセミナーがない	8人	6人	2人
イ セミナーを開催していることを知らない	312人	240人	72人
ウ セミナーに参加したいと思わない (理由：会場が遠い、忙しい等)	89人	70人	19人
無回答	9人	7人	2人

一番多い参加しない理由は「セミナーを開催していることを知らない」でした。

(3) 参加してみたいテーマを選択してください（複数回答可）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 生活習慣病	65人	51人	14人
イ 肥満解消・減量	55人	46人	9人
ウ 食生活の改善	54人	45人	9人
エ 食育	36人	33人	3人
オ 健康料理の作りかた	58人	48人	10人
カ 更年期障害	60人	53人	7人
キ 肩こり・腰痛予防	81人	61人	20人
ク 姿勢・歪みの改善	83人	64人	19人
ケ ウォーキング	30人	23人	7人
コ ストレス予防・メンタルヘルス	67人	51人	16人
サ その他(回答なし)	3人	3人	0人

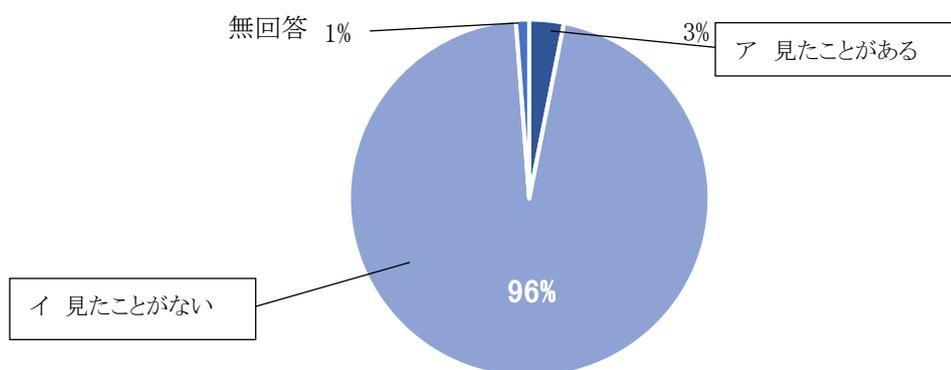
一番多い参加してみたいテーマは「姿勢・歪みの改善」でした。

1.1 健康料理教室について

組合員及び被扶養者を対象に、年度内各1回（土曜日）開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度から中止し、代わりに当組合ホームページに健康料理レシピを掲載しています。

(1) 当組合ホームページのレシピをご覧になったことはありますか。

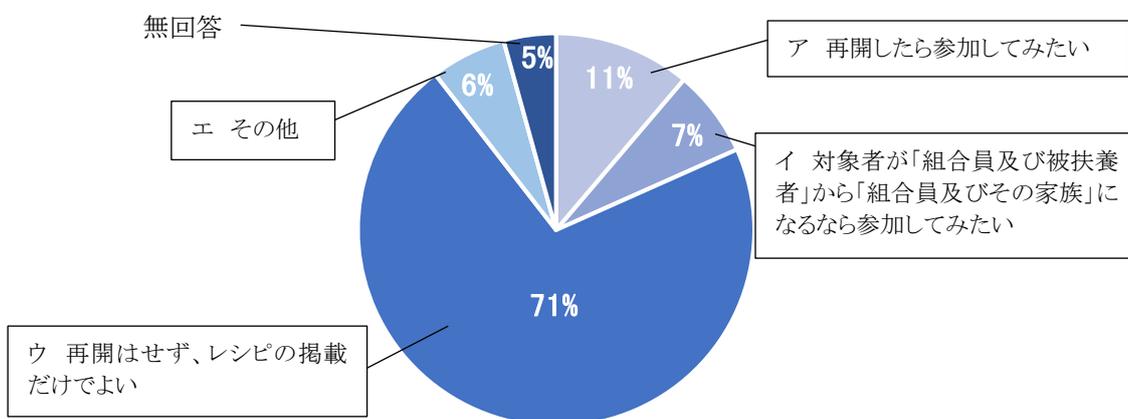
		合計	内 訳	
			被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 見たことがある	レシピを参考にした	4人	4人	0人
	閲覧のみ	13人	11人	2人
イ 見たことがない	掲載は知っている	3人	2人	1人
	掲載を知らなかった	400人	309人	91人
無回答		1人	0人	1人



配偶者の96%が「見たことがない、掲載を知らなかった」と答えています。

(2) 健康料理教室の再開についてお伺いしますので、いずれかを一つを選択してください。

	合計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 再開したら参加してみたい	47人	37人	10人
イ 対象者が「組合員及び被扶養者」から「組合員及びその家族」になるなら参加してみたい	30人	23人	7人
ウ 再開はせず、レシピの掲載だけでよい	300人	234人	66人
エ その他(事業自体が不要、興味がない等)	26人	18人	8人
無回答	18人	14人	4人



配偶者の71%が「再開はせず、レシピの掲載だけでよい」と答えています。

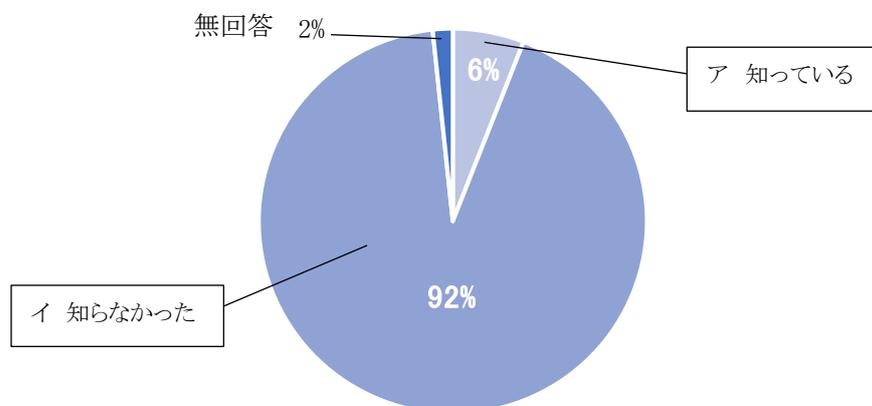
12 ライフプランセミナーについて

組合員及びその配偶者を対象に開催しており、ライフプランや年金制度の説明をしています。

- ◇ 50歳以上の組合員とその配偶者 【今年度優先参加年齢(組合員)】57歳、58歳、59歳
平日開催(8月) : 県北2か所、県央1か所、県南2か所で各2回
土曜日開催(11月) : 県央1回
- ◇ 30歳~49歳の組合員とその配偶者
土曜日に県央で2回(8・11月)

(1) ライフプランセミナーは配偶者も参加できることをご存じでしたか。

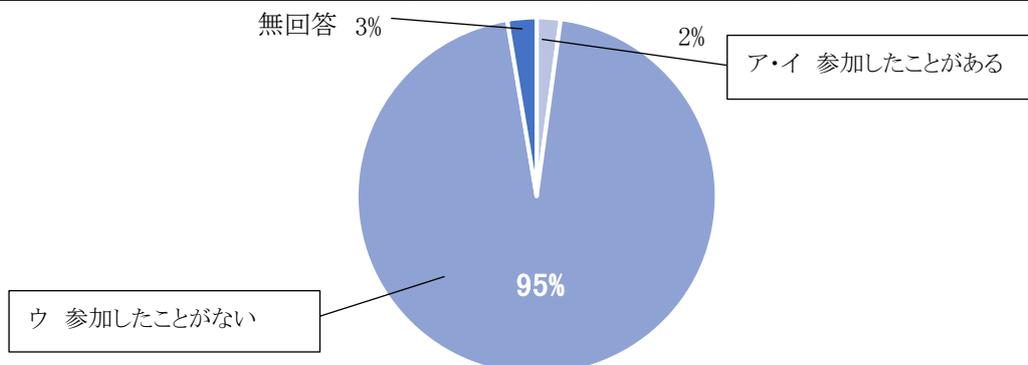
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 知っている	25人	20人	5人
イ 知らなかった	389人	304人	85人
無回答	7人	2人	5人



配偶者の92%が「知らなかった」と答えています。

(2) 参加についてお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 参加したことがある(組合員が49歳以下)	2人	1人	1人
イ 参加したことがある(組合員が50歳以上)	7人	3人	4人
ウ 参加したことがない	401人	317人	84人
無回答	11人	5人	6人



配偶者の95%が参加したことがありません。

- (3) 組合員が49歳以下の方にセミナーで聞きたい内容をお伺いしますので、選択してください（複数回答可）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア ライフプランの基礎	18人	17人	1人
イ 資産形成・運用	23人	23人	0人
ウ 公的年金について	18人	17人	1人
エ NISA・iDeCo等	17人	16人	1人
オ 生命保険・医療保険	11人	11人	0人
カ その他(回答なし)	2人	2人	0人

一番多い聞きたいテーマは「資産形成・運用」でした。

- (4) 組合員が50歳以上の方にセミナーで聞きたい内容をお伺いしますので、選択してください（複数回答可）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア ライフプランの基礎	16人	9人	7人
イ 資産形成・運用	13人	9人	4人
ウ 公的年金について	20人	14人	6人
エ NISA・iDeCo等	9人	4人	5人
オ 生命保険・医療保険	10人	6人	4人
カ 定年(延長)後の体験談	19人	13人	6人
キ その他(回答なし)	2人	1人	1人

一番多い聞きたいテーマは「公的年金について」でした。

- (5) 参加しない理由を選択してください（参加したことがない方のみ、複数回答可）。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア ライフプランに興味がない	22人	21人	1人
イ セミナーを開催していることを知らない	304人	242人	62人
ウ セミナーに参加したいと思わない	80人	60人	20人
エ その他(多忙のため、年齢的に対象外等)	16人	8人	8人
無回答	21人	14人	7人

一番多い参加しない理由は「セミナーを開催していることを知らない」でした。

1.3 特定健康診査等について（40歳以上の方のみ：343人）

特定健康診査（以下「特定健診といいます。」）は、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防を目的として実施しています。

＜対象者＞

毎年4月1日現在において資格がある40歳以上75歳未満の組合員及び被扶養者

＜当組合の特定健診受診率＞

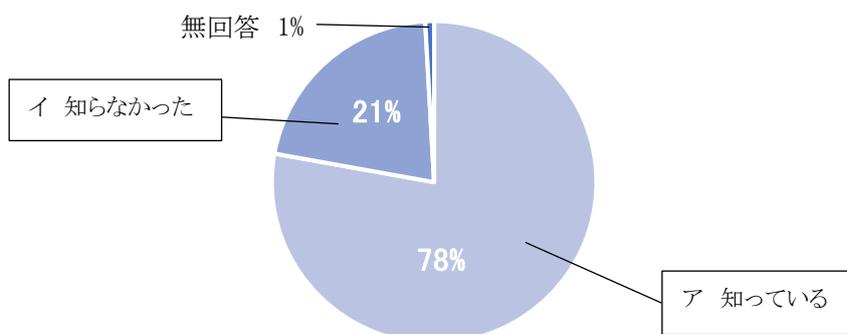
区 分	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
組合員	98%	96.3%	96.5%	96.6%
被扶養者	70%	51.0%	56.5%	58.0%

配偶者の方の特定健診は、次のいずれかで受診したことになります。

- ① 当組合発行の受診券を使用し、お住まいの市町村の住民健診または医療機関（病院）で受診
- ② パート先等の勤務先で受診し、後日当組合へ健診結果のコピーを提出
- ③ 当組合の助成を受けて、人間ドックを受診
- ◇ ②の方へ→ 昨年度分の健診結果のコピーはまだ受付しておりますので、ご提出をお願いします。

（1） 特定健診は当組合発行の受診券を使用することで、無料で受診できることをご存じですか。

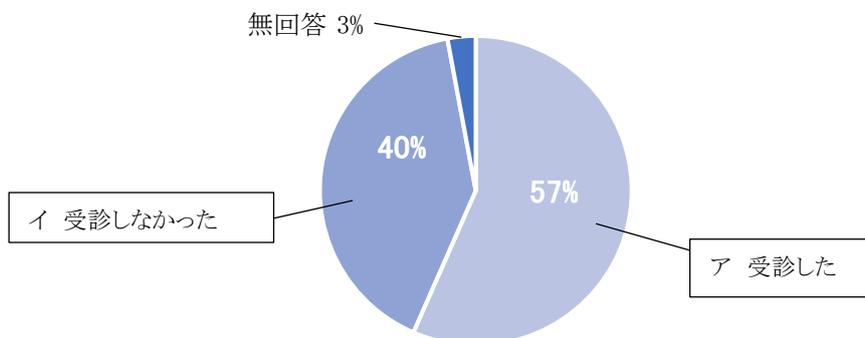
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 知っている	267人	187人	80人
イ 知らなかった	73人	59人	14人
無回答	3人	3人	0人



40歳以上の配偶者のうち78%が「知っている」と答えています。

(2) 昨年度、特定健診を受診しましたか。

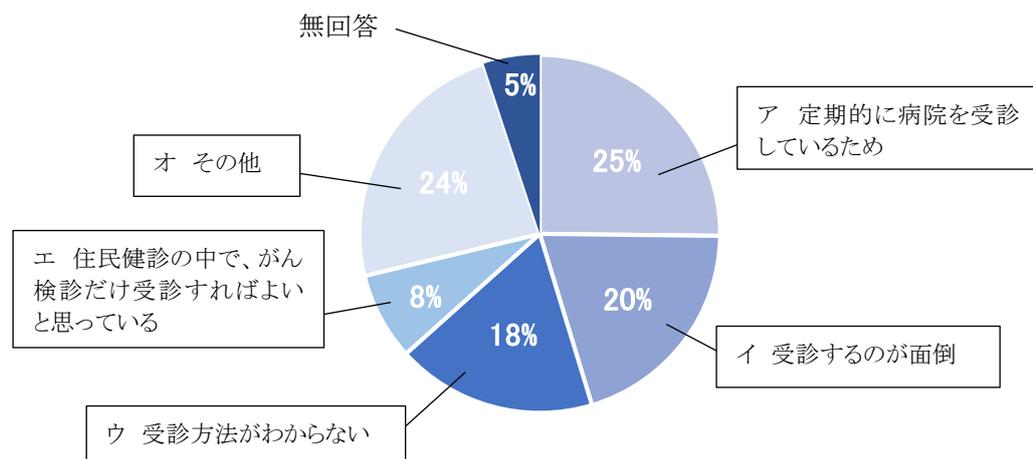
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 受診した	194 人	144 人	50 人
イ 受診しなかった	139 人	96 人	43 人
無回答	10 人	9 人	1 人



40歳以上の配偶者のうち57%が昨年度特定健診を受診しています。

(3) 昨年度、受診しなかった理由をお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

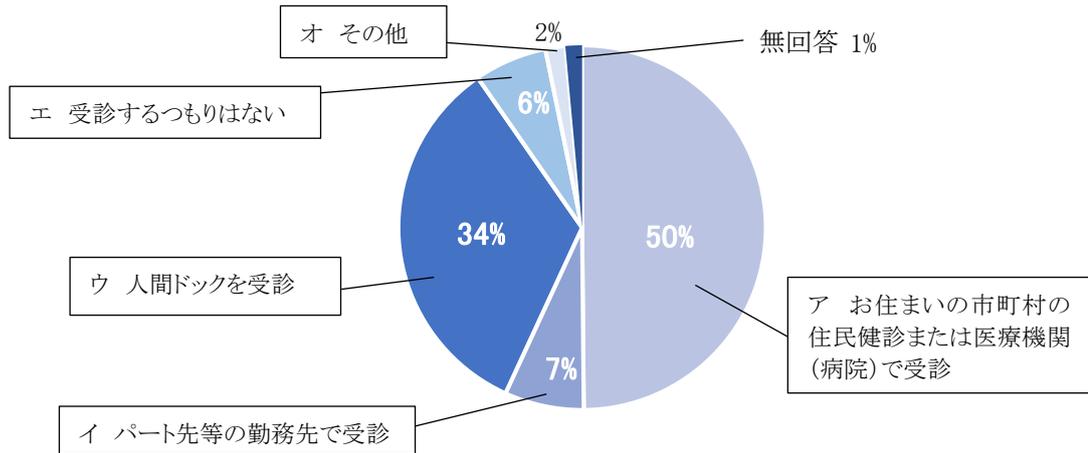
	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア 定期的に病院を受診しているため	35 人	19 人	16 人
イ 受診するのが面倒	28 人	21 人	7 人
ウ 受診方法がわからない	25 人	22 人	3 人
エ 住民健診の中で、がん検診だけ受診すればよいと思っている	11 人	8 人	3 人
オ その他(人間ドックを受診、昨年度は共済組合の資格がなかった、新型コロナウイルス感染症の影響で受診を控えた等)	33 人	19 人	14 人
無回答	7 人	7 人	0 人



受診しなかった40歳以上の配偶者のうち25%が「定期的に病院を受診しているため」と答えています。定期的に病院を受診していても、特定健診は別途必要となります。

(4) 今年度の特定健診の受診(予定)についてお伺いしますので、いずれか一つを選択してください。

	合 計	内 訳	
		被扶養配偶者	被扶養配偶者(短期)
ア お住まいの市町村の住民健診または医療機関(病院)で受診	171人	116人	55人
イ パート先等の勤務先で受診し、後日当組合へ健診結果のコピーを提出(予定)	24人	20人	4人
ウ 人間ドックを受診	115人	90人	25人
エ 受診するつもりはない	22人	14人	8人
オ その他(まだ決めていない、機会があったら等)	6人	4人	2人
無回答	5人	5人	0人



40歳以上の配偶者のうち50%が「お住まいの市町村の住民健診または医療機関(病院)で受診」と答えています。

14 その他

(1) 実施して欲しい保健事業がなにかあればご記入ください。

健康ポイントアプリの導入、配偶者への保健事業の周知、今回のようなアンケートも含めた各種手続きのデジタル化 等